

2018 年度、グローブシップグループ合同入社式、社長訓示抜粋

皆さん、入社おめでとうございます。グローブシップグループ3社の合同入社式に、このように若々しく意欲に溢れた新入社員がグローブシップ株式会社に35名、株式会社アトックスに21名、そして、日東カスタディアル・サービス株式会社に9名、合計65名もの皆さんを私たちの仲間としてお迎え出来たことは、大変心強く頼もしい限りです。この中には外国籍の新入社員が7名おります。心から皆さんを歓迎致します。

2年前から3ヵ年計画をスタートさせましたが、最も重要なテーマは、グローブシップとしてのブランドの構築です。そのブランドイメージを「戦略FMパートナーのグローブシップ」という言葉で表しています。ここには、お客様から見て「単に価格が安いから選んだ業者」或いは「他の企業と何時でも取り換えられる業者」ではなくて、「お客様自身の事業にとって必要不可欠なビジネスパートナー」として選んで欲しいという思いが込められています。

ブランドに相応しい社風、企業文化を作るために、社員の行動規範を具体的に規定しました。中身は16項目に亘り、「お客様に対する姿勢」、「社会に対する姿勢」そして「職場における心構え」と3つのカテゴリで構成しています。社員一人一人の仕事の取り組み方、意識の持ち方等を具体的に定めたものです。これを「グローブシップウェイ、GS WAY」と呼び、昨年7月から全社でその周知徹底を図るキャンペーンを展開しています。

私たちの会社の挑戦は、それぞれの基本理念、基本方針であるミッション、ビジョン、バリューにある大きな志と使命感に基づいています。私たちは単に売上、利益を追求するだけの会社ではなく、企業活動を通じて、ここに掲げた企業理念の実現を目指す会社です。

勿論、売上と利益は会社が存続する上で不可欠ですが、私たちにとってそれはあくまで手段であって目的ではありません。仕事を通じてお客様や社会に貢献していくこと、そして、その仕事の担い手である社員を幸せにするということ、が目的です。

私たちの会社の考え方、価値観はGS WAYの16の行動規範に表れています。その中で特に大切だと私が思う3つの規範についてお話します。まず、1つ目は

「誇り」です。GSWAYでは「グローブシップ社員として誇りと使命感を持って行動すること。いつも誠実に全力で仕事に取り組むこと」と謳っています。ここで言う「使命感」とは会社の仕事を通して社会に貢献していくという高い志を指します。常にこの使命感と誇りを持って、誠実に一生懸命仕事に打ち込むことが大事です。仕事は誇りとやり甲斐を持って楽しく働くことが大事であり、良い仕事ができる秘訣です。

2つ目は「当事者意識」を持つということです。その意味は「自分が担当する仕事については常に責任感と問題意識を持って遂行し、より良い成果を追求することです」更に、自分の仕事の範囲を狭く考えずに、他の部門や他の同僚が担当する業務についても、「人ごと」ではなく、「自分の仕事」に関係していると認識して、同僚と協力、連携し、対応策を一緒に考え、主体的に責任を持って取り組むことが大切です。

そして、3つ目は「チャレンジと自己実現」です。GSWAYでは、「高い目標を持ち、常に挑戦し続ける。現状に甘えず、先入観にとらわれず、一人一人が推進者となって、改善、改革に取り組み、革新を起こす。仕事を通して人間的に成長し、自己実現を目指す」とあります。この「チャレンジ」「挑戦」という考え方は大事な価値観です。過去の延長線上で物事を考えず、新たな発想を持って、改革に取り組むことが大事です。新しいことをやろうとするときに、出来ない理由を考えるのではなく、どうやれば出来るかを考えて行動することが絶対に必要です。

私たちの目の前には既に顕在化している深刻な人手不足の問題があります。また、「ロボット」「AI」「IOT」等の革新的なイノベーションが引き起こす大きな社会変動はある意味リスクかもしれません。しかし、私たちは、こうした問題や変化を寧ろチャンスと捉え、その解決にチャレンジするしたたかさと勇気を持たなければならないと考えています。

これから先、会社も皆さんも何時も順風満帆という訳にはいきません。色々なことが起こると思います。大事なことは何があっても逃げずに立ち向える準備を何時もしていることです。その時、今述べた3つの考え方は必ず役に立ちます。私たちの夢や希望はその困難、課題を乗り越え、新たな道を自ら切り開いた先にあります。今日入社し、私たちと同じ船に乗り込んだ皆さんには、そうした気概と覚悟を共有して頂き、私たちと共に帆をいっぱい張って、大海原を目指して頂きたいと思います。